

エネルギーと環境の調和を目指して

人類が火を使い始めたその瞬間から、“エンジニアリング”という分野は誕生しました。

最先端の技術を駆使し、豊かな人間社会と地球環境の保全に貢献していくこと。

それが、総合エンジニアリング会社としての千代田化工建設グループの使命であると考えています。



完成したパプアニューギニアのLNGプラント
写真提供：エクソン・モービル社



千代田化工建設株式会社

〒220-8765 神奈川県横浜市西区みなとみらい4丁目6番2号
みなとみらいグランドセントラルタワー
<http://www.chiyoda-corp.com/>

エンジニアリング産業

日本のエンジニアリング産業市場

売上総額 約15.5兆円

自国 : 約 12.1兆円
自国外 : 約 3.4兆円



技術力を発揮

通常、案件を受注しき連れて挑む。プロジェクトの場合、建設工事などエクト終了後は全てがの人材確保や資材・機材の調達を現地で行うのが、エンジニアリング産業での「お約束」を始める。これにより、地元では新たな雇用機会への期待、市場の活性化が見られる。しかし、中国へ引き上げるたる。日本企業の大きな強みだ。

その点、日本は政府の開発援助（ODA）を足掛かりに、その国の産業を育てていく姿勢を第一にエンジニアリングを取り組んでい。日本企業の大きな強みだ。日本の15年のエンジニアリング産業市場は、国内では12.1兆円、海外では3.4兆円を売り上げる。併せ、一層のインフラニーズが見込まれてい。これが海外進出のチャンスが遠ざかる結果にはならないだろうか。

一方、海外では世界人口は50年までに90億人を突破する予想だ。世界人口の急激な増加に対して、発電インフラや医薬製造プラントに対するニーズは今後高まるだろう。食糧不足の懸念から、食糧増産、化学肥料製造プラントも伸びると予想される。日本の技術力がこれらの分野でどのように発揮されるのか、期待が高まる。

（取材元・図の提供）
エンジニアリング協会